

# 平成30年度第1回学校評価アンケートにおける主な要望と回答

## I 授業や学習指導について

### (1) 授業の進度等について

- ・ 四高は授業が進むのが格段に遅いです。(1年生徒)
- ・ 授業のスピード、内容共に物足りなさを感じているようです。学力別、目的別に合わせた課外などがあってもいいのではないのでしょうか。(3年保護者)
- ・ いつも子供達のためにご尽力いただきありがとうございます。先生方もお忙しい中、又、いろいろお考えもあると思いますが、子供達が質問しやすい空気を作っていただけたら、と思うこともあります。苦手科目ほど質問しにくいようで…。レベルの低い質問にも答えていただけましたら幸いです。(3年保護者)

#### 【学校から】

- ・ 授業の進度は、生徒の実態や進路希望等を参考に、毎年各教科で検討の上、年度初めにシラバス(年間指導計画)を作成し、各教室に掲示しているところです。
- ・ 生徒によって、「物足りない」という不満や、「ついていけない」という悩みはどうしてもあると思います。授業でカバーできない部分については、進路指導課、各教科、各学年の企画で、課外、補習、添削等を実施しています。また、教科担任への質問は随時受け付けていますので、遠慮なく職員室に来てほしいと思います。
- ・ 塾等に通わせているご家庭もあると承知していますが、本県ではどの高校でも、塾に依存しない学習指導、進路指導を展開しておりますので、入学後の教育費のための蓄えについても考慮し、十二分に学校をご活用いただくことをお勧めします。

### (2) 家庭学習課題について

- ・ 課題が本当に多くて困っています。学年団の先生方で集まる機会があるとき、少しは話題に出してはいただけませんか？(3年生徒)
- ・ 各教科担当の先生方が他教科の課題を把握してないらしく、時折、課題の量が不適切になるので確認して出すようにしてほしい。(3年生徒)
- ・ 宿題や小テストを増やしてほしい。学力向上できるよう指導してほしい。(1年保護者)

#### 【学校から】

- ・ 週末の家庭学習習慣の確立と、授業で十分とれない問題演習の時間を補うため、「週末課題」を課す教科がありますが、週末に部活動がある生徒は課題の取組に苦慮している実態があると把握しております。その対策として、
  - (1) 課題の提示を週末の直前ではなく、早期に、月単位等でまとめて行う。
  - (2) 提出日を月曜日に限定せず、各教科でずらす。
  - (3) 学年内で各教科の課題を共有し、特定の教科に偏らないよう、生徒の時間を管理する。等が考えられます。今後、教科毎、学年毎に対応を検討することとしますが、生徒の側としては、
  - (1) 課題が出たら、直ちに取り組む。
  - (2) 週末に限らず、平日も家庭学習時間を確保する。
  - (3) 教科別に、学習する曜日、時間を固定する。等、計画的な家庭学習習慣の確立に努めてください。

### (3) その他の学習活動について

- ・ 楽しく学校生活を送っているが、学習は自主的なところがあるので、自分次第なところがある。

もっと強制的な学習の場を設けてもいいと思う。(2年保護者)

- ・ 現在うちの子が、毎日の小テストが多く、本当にやりたい受験勉強に手をつけられないと困っています。うちの子曰く、テスト直前だけで、力になる勉強をしていない人も少なくないそうです。テストをやらない方がいいとは言いませんが、意味のない(力にならない)テストはやる必要がないと思います。きちんとできる子は小テストがなくても計画的にきちんと勉強できているはずです。小テストをやればいいというのではなく、そのテストが本当に多くの生徒に対して効果があるかと考え、中には、自分の勉強をやりたいと困っている人がいることも考慮してほしいです。(3年保護者)
- ・ 夏休みの学習法にも「課題、講習の復習、不得意分野の補強」とありますが、毎日のテスト、課題の多さに追われ、復習、補強に手を付けることができない状態に不安と焦りを強く感じています。先生方の指示どおりにテスト、課題に取り組むことで、力がついていることも事実ですが、無計画、突然の予定変更でテストを実施されては、テスト、課題に取り組むだけで日々の学習が終わってしまいます。教科ごとにもっと計画性を持ち、それを生徒に長期的、短期的にも示し、更に少なくとも週に一度はテストのない曜日を設けて頂ければ、復習、補強にも取り組むことができます。是非ともご検討をお願い致します。(3年保護者)

#### 【学校から】

- ・ 本校では、学習と部活動の両立という観点から、45分×7時間授業を採用しております。
- ・ 45分の授業をどのように展開していくかは各教科担任の裁量ですが、授業中の小テスト実施については、マンネリ化させず、実効性を絶えず検証し、時機をとらえて効果的に実施します。
- ・ また、実施する際は、課題と同様、全体の実施計画を事前に提示し、生徒が計画的に準備できるよう配慮してまいります。
- ・ なお、小テストの結果は観点別評価の材料の一つになっているという点もご理解ください。

## Ⅱ 進路指導について

### (1) 課外について

- ・ 課外をやる意味がわかりません。課題やるために学校行くなら、なくていいと思います。(2年生徒)
- ・ テスト前の朝・放課後学習を自由にしてほしいです。(2年生徒)
- ・ 課外期間が長い。(2年生徒)
- ・ 課外多いし長いです。先生も週6勤務で8～5時半はかわいそう。(3年生徒)
- ・ テスト前の課外への参加者が少なく、先生からの指導もないと聞きました。参加者が少ないのが原因か、内容が充実していないから参加者が少ないのか? 「入りたい大学に入るのか? 入れる大学に入るのか?」強く子供に意識を持たせ導いていただきたいと思います。(2年保護者)
- ・ 夏休みの課外は、外部の会場(冷房の入るところ)を借りることも検討してもらいたい。(2年保護者)

#### 【学校から】

- ・ 課外は、生徒の進路希望達成を目的に行われるもので、平日の放課後に行われる「平常課外」、土曜日に行われる「土曜講習」、長期休業中に行われる「夏季(冬季)講習」、学年末に行われる「春季課外」等があります。
- ・ 課外は教員が講義する形式が主ですが、便宜上「課外」と呼びながらも、課題への取組による自学自習を行う日もあります。
- ・ 考査前学習会は、自分の学習が遅れている教科・科目を補うという趣旨から、自学自習が原則です。また、補習を並行することもあります。なお、土曜日は希望制としております。
- ・ 学習は自分の課題と向き合い、自律して行えることが理想ですが、一方で「全国規模での受験」

というこれまで経験したことのない重圧に苦しむ場合もあります。しかし、心がめげそうになった時、側に教師や級友が寄り添ってくれれば、「つらいのは自分だけじゃない」と思い直し、壁を乗り越えられることもあろうかと思えます。これが、「受験は団体戦」と言われるゆえんです。

- ・ 3年生の夏季講習については、冷房のある特別教室を使用しています。1、2年については、普通教室で辛抱してもらっていますが、今年のように今後も猛暑が続くようなら、会場を含めた講習の実施方法について、検討が必要と考えます。

## (2) 進路情報について

- ・ 大学受験が変わる年の受験ですので、とても不安です。保護者にも印刷物や説明会など、情報の提供をいただけますよう、よろしくお願いいたします。(1年保護者)
- ・ 校報や学年通信など情報がほしい。子供はあまり話さなくなったし、わからない。(1年保護者)

### 【学校から】

- ・ 学校からは時機をとらえて、必要な情報を提供しています。お子様がお帰りになったら、「今日は何か学校からもらって来なかった？」と、問いかけてみてください。また、PTA総会や学年PTAでも、進路関係資料の配布や進路に関する説明会を実施しておりますので、お仕事等でお忙しいとは存じますが、奮ってご参加のほど、お願い申し上げます。
- ・ 余談ですが、PTA学級理事になると、学校との距離が縮まり、各種情報も自然と入りやすくなりますので、PTA活動には積極的に関わっていただければ幸いです。

## Ⅲ 部活動指導について

- ・ 部活動の終了時刻が守られていないので全体で顧問の先生に話してほしい。ダラダラ続けられるとモチベーションも下がるし、もっと休息する時間がほしい。(2年生徒)
- ・ 部活の終了時間が遅く、日常生活に支障を来している。(1年保護者)
- ・ 部活動について 冬期間、日没までとは行かないかもしれませんが、17:30までで終了にはならないでしょうか。年間を通して、土日両方の活動とせず、どちらか休みに、せめて月に2回くらいは休みにしていただきたい。(2年保護者)
- ・ 土曜日又は日曜日のいずれか1日は体を休めるために部活動を休みとすることをご検討頂きたい。どうぞ宜しくお願いします。(3年保護者)

### 【学校から】

- ・ 平成30年6月に、県は「岩手県の部活動休養日及び活動時間の基準」として、高等学校の場合、「週1日以上休養日を徹底しながら、年間平均で週当たり2日以上休養日の設定に努める。」
  - ・ 1日の活動時間は、学校の特色及び種目等を考慮し、各学校において適切に設定する。」と決めました。
- ・ 本校は、勉強と部活動を高い次元で両立することを目指し、教育活動を展開しています。
- ・ そのためには、限られた時間の中、合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進のための取組が不可欠です。
- ・ 休養日の設定については、種目の特性により、大会前とオフシーズンで部活動の内容に差がある部もありますが、「年間平均で週当たり2日以上休養日」の趣旨を踏まえ、部活動を実施してまいります。
- ・ 1日の活動時間については、平日は18:40終了、19:00完全下校が原則です。ただし、大会前おおよそ1週間前には、約1時間程度の部活動延長が認められています。
- ・ 「顧問がいつまでも練習をやめない。」「部活動の休みがない。」「子どもの帰りが遅い。」等、何かお気づきの点がありましたら、お気軽に副校長宛て、お電話いただければ幸いです。

## IV 生徒指導について

### (1) 交通マナーについて

- ・ 自転車の乗り方の改善が必要だと思う。(例) 並進、両耳イヤホン、歩行者の進路阻害、その他危険運転。←登校時だけでなく、1日を乗り切った下校時にも見られる。(2年生徒)
- ・ 先日自転車の危険運転を目撃しました。運良く車の運転手の方が気づいたので事故にはなりませんでしたが、一番問題なのは自転車に乗っていた本人がその危険さに気づいていなかったことです。安全に対する指導をお願いいたします。(3年保護者)

#### 【学校から】

- ・ 交通マナーについては、全校集会、学年集会及び各クラスで注意喚起を継続しているところです。
- ・ 平成30年度は、自転車による交通事故が、8月31日現在13件と、激増しております。(H29:9件、H28:5件)
- ・ 事故の起きている時間帯としては登校時が目立っておりますので、朝10分でも早く家を出ることで、気持ちに余裕を持って通学ができるよう、ご家庭でもご協力をお願いします。

### (2) 挨拶について

- ・ 4歳年上の兄が在学中の頃と比べて、あいさつをしてくれる生徒さんが減ったと思う。(3年保護者)

#### 【学校から】

- ・ 本校は「さわやかなあいさつが明るく飛び交う品格のある学校」を目指し、日々教育活動に取り組んでいるところです。
- ・ 一日体験入学や芸術鑑賞会等の行事では、「やる時はやる澆刺とした高校生」の姿を見せ、本校のイメージアップにつながっていると自認していますが、生徒の誰もが、日頃から学校の内外で、自然に挨拶が出てくるよう、今後とも指導を継続してまいります。

## V 学校行事について

- ・ 卒業式の証書授与が学級代表のみと聞きました。全員が壇上で授与されるのと時間的にはそれほど変わらないとも聞きました。子供と親の満足のためなのかもしれませんが、ぜひ全員に壇上で校長先生から渡して頂きたいです。(2年保護者)
- ・ 学校全体でボランティア活動に取り組んでほしい。(3年保護者)

#### 【学校から】

- ・ 学校行事は、各分掌の企画の下、毎年改善を繰り返しながら実施しているところです。
- ・ いただいたご意見について、鋭意検討を進めてまいります。
- ・ ところで、平成31年度から学級減により、3年間で120名生徒数が減少する見通しです。
- ・ 生徒減により、今までどおりの形でできなくなるもの、また反対に、学校がコンパクトになることにより、できるようになることが出てくると思われまますので、様々な場面をとらえて、ご提言をお寄せいただければ幸いです。

## VI 施設・設備について

- ・ エアコンを設置してほしい。洋式トイレがあったらいい。(1年保護者)
- ・ 志高会館の使用をもっと有効にして頂きたい。部活で合宿に使用したり、もっと自由に使用させて頂きたい。(3年保護者)
- ・ 女子トイレの清掃状態が悪いと思う。床面のほこり、髪の毛、便器の汚れが目立つ。年々悪くな

っている気がする。(3年保護者)

- ・グラウンドの砂ぼこりがひどく近隣の住宅に迷惑をかけている気がします。(3年保護者)

#### 【学校から】

- ・施設・設備の更新、購入、修理等は、県費によるものと、教育振興費等の私費によるものがあります。
- ・費用がかかるものについては、予算を要求して、それが承認されないと執行できないことから、すぐにはご要望にお応えできない場合があると思いますが、限られた財源の中で、優先度や緊急度の高いものから購入してまいります。
- ・トイレの清掃等については、特にお金のかかるものではありませんので、生徒に対し、校舎の愛護について説きながら、日常的に指導を継続してまいります。

## Ⅶ 開かれた学校づくりについて

### (1) 連絡方法について

- ・通信機器に依存した連絡網はいかがかと思う。紙連絡も重要と思います。スマホ依存を助長していると感じます。(1年保護者)

#### 【学校から】

- ・保護者宛の連絡や案内は文書が正式なものであり、メール配信はそれを補完するものです。
- ・したがって、基本的にメールで配信しているものは、生徒を通じて文書も配布しておりますので、よろしくをお願いします。
- ・なお、自然災害等に伴う休校、土曜課外の中止等、重大かつ緊急を要するものについては、取り急ぎメールで通知することがありますので、ご理解をお願いします。

### (2) 学校公開について

- ・保護者がもう少し学校の様子がわかるよう、小・中学校のような授業参観日をもっとやるとか、通信を多くするとかしても良いかと思います。子供が成長していくと、なかなか同じ時間を共有することが少なくなっていくので…。(2年保護者)

#### 【学校から】

- ・授業参観については、「学校へ行こう週間」を年2回実施し、保護者のみならず広く地域に対して学校を知ってもらうための取組を図っているところです。
- ・1回目は志高祭と連動させ、8月25日から8月31日まで実施しました。志高祭は、昨年度を約370名上回る1,510名の来場者がありましたが、翌週の「学校へ行こう週間」については、PR不足があったためか、4名の来場者にとどまりました。
- ・2回目は、11月1日「いわて教育の日」を含む10月29日から11月2日までを予定しています。1週間の内、ご都合のつく時間で、何度でも見ることができますので、お手すきの時間にお気軽にお越しください。
- ・これ以外では、10月から11月にかけて学年PTAがあり、1時間ではありますが、授業を公開します。
- ・学年通信については、不定期ではありますが、各学年とも月1回程度発行しているところです。
- ・校報としては、「シルバーリーフの風」の今年度第1号を高総体が終了した6月に発行しました。
- ・この他、学校の公式HPもアップロードしていますが、更新の回数が少なく、結果として閲覧数が伸びていない状況がありますので、今後はさらにWebページを積極的に活用することで、学校理解の一助としてまいります。